

大正大學研究紀要

第一〇八輯

目次

北魏廢仏研究について……………	春本秀雄 (1)
——CNKIの論文を踏まえて——	
大正大学附属図書館蔵『道成寺縁起絵巻』の一考察……………	渡辺麻里子 (23)
戦国時代の会盟と国際社会……………	小林伸二 (59)
文化的記憶としての仏教的表象……………	渡辺隆明 (79)
——仏教学の歴史学的方法の検討——	
平安貴族社会における女房集団の変容と漢才の行方……………	野田有紀子 (99)
老年期のサードプレイスの持続可能性……………	榎野光路 (134)
——ソーシャル・キャピタルから考える——	

三浦哲郎「盆土産」の時代推定……………大竹信雄（158）

「常用漢字表」の一字下げの音訓について……………中川秀太（176）

コロナショックと人口動態の変化……………小峰隆夫（188）

高等教育改革のなかの初年次教育の見取り図……………長谷川隼人（208）

——大正大学の初年次共通教育の実践と今後の課題——

科学社会学および技術経営論における科学技術システムへのアプローチ……………田島恵美（220）

——再生可能エネルギーシステム形成研究の観点から——

野生復帰事業に関係する自治体での「野生復帰の推進」と「環境課題」についての考察……………本田裕子（238）

コミュニティ放送の収益性……………北郷裕美（260）

——ラジオ媒体とインターネットの親和性からの一考察——

ハーンとラマ……………新藤篤史 (280)

——清朝皇帝に内在する権威——

牧師の娘 イザベラ・バード……………大野純子 (300)

eラーニングにおける学習者の動機づけと教師の役割……………行森まさみ (322)

国際的志向性が低い学生の異文化感受性の変化の検証……………天木勇樹 (354)

——異文化感受性発達度アンケートからの考察——

東本裕子
白須洋子

宗教現象学とシュッツの「多元的現実」論……………星川啓慈 (374)

——日常生活世界と究極的意味領域としての「死後の世界」を手がかりに——

内棲宗教論と大乗山法音寺……………寺田喜朗 (398)